

## 家計調査等改善検討会の開催について

平成 24 年 4 月 27 日  
総務省統計局統計調査部  
消費統計課

**1 目的**

統計局が実施している家計統計関連調査（家計調査等）の調査内容、調査方法、集計事項等の改善に資するとともに、調査の在り方について検討することを目的として、「家計調査等改善検討会」を開催する。

**2 検討課題**

- (1) 家計調査等の在り方について
- (2) 調査内容及び調査方法について
- (3) その他

**3 構成員**

別紙のとおり

**4 開催時期**

平成 24 年度に 4 回程度開催する。

**5 その他**

本検討会の庶務は、総務省統計局統計調査部消費統計課において処理する。

別 紙

家計調査等改善検討会の構成員

◎ 情報セキュリティ大学院大学教授	廣 松	毅
明海大学経済学部准教授	伊 藤	伸 介
S M B C 日興証券(株)金融経済調査部 部長	岩 下	真 理
神戸大学大学院経済学研究科准教授	宇南山	卓
早稲田大学政治経済学術院教授	西 郷	浩
埼玉大学教育学部教授	重 川	純 子
(株)第一生命経済研究所経済調査部主席エコノミスト	永 濱	利 廣

その他、座長が必要に応じて招請する専門分野の学識者

<オブザーバー>

内閣府経済社会総合研究所国民経済計算部国民支出課長  
内閣府政策統括官（経済財政分析担当）付参事官（総括担当）  
日本銀行調査統計局経済調査課企画役

<統計局出席者>

統計局長  
統計局統計調査部長  
統計局統計調査部調査企画課長  
統計局統計調査部消費統計課長  
統計局統計調査部消費統計課物価統計室長

その他、消費統計課長が指名する者

(敬称略・◎は座長)

## 家計調査等改善検討会の今後の検討スケジュール（案）

○平成 24 年 6 月 21 日（木）（第 5 回）

**【家計調査】**

- ・家計調査への電子家計簿導入の検討の進め方について

**【平成 26 年全国消費実態調査】**

- ・平成 26 年全国消費実態調査の検討課題について
- ・平成 26 年全国消費実態調査の検討の進め方について

○平成 24 年 10 月（第 6 回）

**【家計調査】**

- ・電子家計簿導入による影響の検討結果について
- ・家計調査の単身世帯取りやめに関する論点整理・ヒアリング結果
- ・家計調査の重量記入の合理化に関する論点整理・ヒアリング結果
- ・標本設計の改善に関する論点整理について

**【平成 26 年全国消費実態調査】**

- ・平成 26 年全国消費実態調査について①  
（調査方法、標本設計、調査事項等）

○平成 24 年 12 月（第 7 回）

**【平成 26 年全国消費実態調査】**

- ・平成 26 年全国消費実態調査について②  
（標本設計、調査事項、調査票様式等）

○平成 25 年 3 月（第 8 回）

**【家計調査】**

- ・家計調査における電子家計簿導入について
- ・家計調査の標本設計に関する改善案について

**【平成 26 年全国消費実態調査】**

- ・平成 26 年全国消費実態調査について③  
（調査事項、調査票様式、集計事項等）

**【家計消費状況調査】**

- ・標本数の拡充及び調査項目の削減に関する検討結果について

○平成 25 年 5 月（第 9 回）

**【家計調査、家計消費状況調査】**

- ・家計調査等の見直しの方向性の取りまとめ⇒26 年度予算要求（試験調査）

**【平成 26 年全国消費実態調査】**

- ・平成 26 年全国消費実態調査について④  
（調査票様式、集計事項、実施計画等）

○平成 25 年 6 月以降

**【家計調査、家計消費状況調査】**

- ・平成 26 年度に行う試験調査の実施計画⇒試験調査の準備
- ・家計調査における電子家計簿の設計について

**【平成 26 年全国消費実態調査】**

- ・平成 26 年全国消費実態調査について⑤⇒統計委員会、パプコメ  
（実施計画）

